

温室効果ガス排出量 検証報告書

2023年7月12日

カゴメ 株式会社 御中

一般社団法人日本能率協会
地球温暖化対策センター
上級経営管理者 平川 雅宏



1. 検証の対象及び目的

カゴメ株式会社（以下「事業者」という。）が作成した算定対象^{※1}における排出量算定結果「CO₂ 排出量算定報告書（2022年度実績）」、「Information for the Calculation report 2022」及び「カゴメグループのスコープ3算定報告書（2022年度）」（以下「算定報告書」という。）に記載の2022年（2022年1月1日から2022年12月31日まで）の以下の温室効果ガス（GHG）排出量情報に関して、事業者は、一般社団法人日本能率協会 地球温暖化対策センター（以下「当協会」という。）に対し、限定的保証を目的とした検証を依頼した。

1) スコープ1 GHG 排出量

算定対象において使用された天然ガス（LNGを含む）、都市ガス、LPガス、軽油、灯油、ガソリンに伴って直接的に排出されるCO₂排出量

2) スコープ2 GHG 排出量

算定対象において使用した電力の使用に伴って排出されるCO₂排出量

3) スコープ3 GHG 排出量

算定対象の事業活動におけるスコープ3 カテゴリ 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 12, 13^{※2}において排出されるCO₂排出量

検証の目的は、算定方法^{※3}に従って、正確に測定、算出されているかについて、独立の立場から結論を表明することである。算定報告書を作成しGHG排出量情報を報告する責任は事業者にあり、当協会の責任は、独立の立場から算定報告書に記載されたGHG排出量情報に対する結論を表明することにある。

2. 検証手続き

当協会は、ISO14064-3:2019 (Greenhouse gases Part 3: Specification with guidance for the verification and validation of greenhouse gas statements)の要求事項に従って検証を実施し、以下の事項を実施した。

- 算定報告書に記載のGHG排出量を決定するために用いられた情報に関する、算定方法、排出量算定システム、及び、関連資料の確認
- 算定報告書の作成に関わる主な担当者へのインタビュー
- GHG排出量の正確性を確認するためにサンプリングによる根拠となる資料の確認

3. 検証の結論

算定報告書に記載された2022年のGHG排出量情報は、算定方法に従って、すべての重要な点において正確に測定、算出されていないと認められるような事項は発見されなかった。

算定対象 ^{※1}	検証された温室効果ガス排出量	
	スコープ1 (t-CO ₂ e)	スコープ2 (t-CO ₂ e)
那須工場	8,955	6,581
富士見工場	2,752	2,556
小牧工場	2,255	3,567
茨城工場	2,238	3,245
小坂井工場	1,702	1
上野工場	823	0
Industria de Transformacao de Produtos Alimentares,S.A.	15,470	0
Fomento da Industria do Tomate, S.A.	10,169	0
Kagome Australia Pty Ltd.	18,551	10,262
Kagome Inc.	2,078	233
Kagome Foods, Inc.	2,848	5,366
Vegitalia S.p.A	952	1,140
Taiwan Kagome Co., Ltd.	974	1,813
Taiwan Kagome Co.,Ltd (Xinshi)	37	87
算定対象 ^{※1}	スコープ3 (t-CO ₂ e)	
カゴメ(株)	カテゴリ 1	507,943
カゴメ(株)及び国内グループ企業 (響灘菜園(株)、いわき小名浜菜園(株)、世羅菜園(株)、 (株)八ヶ岳みらい菜園、カゴメアクシス(株))	カテゴリ 2	12,804
同上	カテゴリ 3	11,955
同上	カテゴリ 4	50,293
同上 ^{※4}	カテゴリ 5	2,257
同上	カテゴリ 6	235
同上	カテゴリ 7	802
同上	カテゴリ 8	533
同上	カテゴリ 9	21,687
同上	カテゴリ 10	11,432
同上	カテゴリ 12	11,537
同上	カテゴリ 13	119

NOTE:

- ※1：算定対象は2/3 ページの表を参照
- ※2：スコープ3 のカテゴリ 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 12, 13
- カテゴリ 1（購入した製品・サービス）：主な製品の原料及び容器包装を対象
 - カテゴリ 2（資本財）：有形固定資産を対象
 - カテゴリ 3（スコープ 1, 2 に含まれない燃料及びエネルギー関連活動）：対象事業所で使用した燃料（LNG、都市ガス、LP ガス、軽油、灯油、ガソリン）、電力を対象
 - カテゴリ 4（輸送、配送（上流））：海外・国内陸上輸送、海上輸送を対象
 - カテゴリ 5（事業から出る廃棄物）：対象事業所の事業活動から出る産業廃棄物を対象
 - カテゴリ 6（出張）：事業者の従業員を対象
 - カテゴリ 7（雇用者の通勤）：事業者の従業員を対象
 - カテゴリ 8（リース資産（上流））：リース車両を対象
 - カテゴリ 9（輸送、配送（下流））：流通者物流拠点から店舗までの陸上輸送を対象
 - カテゴリ 10（販売した製品の加工）：業務用製品の調理加工を対象
 - カテゴリ 12（販売した製品の廃棄）：梱包資材（廃プラスチック、紙くず、金属くず）を対象
 - カテゴリ 13（リース資産（下流））：土地・建物等のリース物件を対象
- ※3：「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン（ver.2.5）」及び事業者が作成した「算定手順書・算定報告書（スコープ 1,2,3）」
- ※4：スコープ 3 カテゴリ 5 のみカゴメ(株)の支店・支社およびカゴメアクシス(株)は除く